

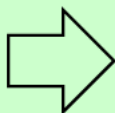
## 高品質な米づくり・経営規模拡大に対応した多様な稲作技術を実現 ～堀 政博 氏～

### 経営体の概要

事業実施前：昭和55年

基幹作物：水稻、メロン、小麦等

経営面積：8.0ha



事業実施後：令和元年

基幹作物：水稻、飼料用米、メロン  
オクラ、なんぼん(とうがらし)

経営面積：22.0ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

水稻を中心とした経営を行っているが、本事業による幹線水路の整備や関連事業による水路のパイプライン化によって、平成19年頃より用水不足の解消と安定供給が図られたことで、高品質な米づくりを実現するとともに、飼料用米の直播栽培やメロン等の施設野菜を組み合わせ、経営規模拡大に対応した多様な稲作技術を実践している。

### 営農改善のポイント

#### ①作物の変化

水田転作が強化される中、以前は水稻+メロンの複合経営により経営の安定を図ってきたが、離農後の農地を継承した経営規模拡大や基盤整備を契機に、平成19年頃より高品質米の作付を拡大するとともに、飼料用米の直播栽培やメロン等の施設野菜を組み合わせ、水稻を中心とした土地利用型経営を行っている。

#### ②栽培技術の確立・向上

高品質な米づくりのため、「特別栽培米」（農薬や化学肥料を50%削減）や「高度クリーン米」（農薬を70%削減）の生産に取り組んでいる。この栽培技術は、基盤整備による用排水改良により移植後の浅水管理、中干し、深水管理や間断かんがいなど生育ステージに応じた適切な用水管理が可能となったことや、水田センサーなどICT技術の活用によって実現している。

#### ③機械・設備の整備

水稻の収穫作業は、機械利用組合がコンバイン（自脱1台+汎用1台）及び乾燥機12台を保有し、6戸の共同利用（刈取り面積65ha）で半乾燥まで行い、JAライスターミナルに出荷することで、収穫作業の省力化による低コスト化を実現している。



高品質米の生産者（カエル倶楽部）



水田センサー  
(ホクレン資料より)



利用組合ライスセンター

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：北海道石狩郡新篠津村、岩見沢市（旧栗沢町、旧北村含む）、美唄市、赤平市、三笠市、砂川市、空知郡南幌町、同郡奈井江町

受益面積：27,027ha

事業期間：昭和54年度～平成23年度(空知中央地区)

平成10年度～平成25年度(空知中央用水地区)

事業目的：用水改良、排水改良、畑地かんがい

主要工事：頭首工2箇所、揚水機5箇所、用水路233.5km、排水路63.3km、調整池1箇所

### 位置図（北海道）



空知中央地区  
空知中央用水地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部  
農業振興課 調整係  
電話：011-709-2311  
(内線5684)

(令和元年度調査時点)